

## 芸備線再構築協議会第 8 回幹事会の開催結果について

### 1 概 要

芸備線 備後庄原駅～備中神代駅間の交通手段再構築を議論する「芸備線再構築協議会」について、令和 8 年 1 月 27 日、第 8 回幹事会が開催されたため、その結果について報告する。

〔芸備線再構築協議会の概要〕

- 特定区間：備後庄原駅（庄原市）～備中神代駅（岡山県新見市）
- 構 成 員：中国運輸局（議長）、岡山県、広島県、新見市、庄原市、  
広島市、安芸高田市、三次市、J R 西日本、学識経験者 ほか
- 位置づけ：特定区間の交通手段再構築を協議する場

### 2 現状・背景（経緯）

令和 5 年 10 月 3 日 J R 西日本が、地域交通法に基づき、備後庄原駅～備中神代駅間における再構築協議会の設置を要請

令和 6 年 3 月 26 日 第 1 回芸備線再構築協議会 開催

10 月 16 日 第 2 回芸備線再構築協議会 開催

令和 7 年 3 月 26 日 第 3 回芸備線再構築協議会 開催

7 月 9 日 第 4 回芸備線再構築協議会 開催

11 月 6 日 第 5 回芸備線再構築協議会 開催

令和 8 年 1 月 27 日 芸備線再構築協議会第 8 回幹事会 開催

### 3 議 事

- (1) 芸備線再構築に関する実証事業（実証事業 A）
- (2) 芸備線再構築に関するより専門的な分析等調査事業（新調査事業）
- (3) 令和 8 年度実証事業・調査事業
- (4) その他

### 4 議事の内容

#### (1) 芸備線再構築に関する実証事業（実証事業 A）

- 事務局から、芸備線を活用した実証事業 A の進捗状況について報告  
（冬期に実施する主な取組内容）
  - ・ 駅弁「芸備浪漫（庄原編・新見編）」の継続販売
  - ・ 庄原市・新見市が連携した地酒をコンテンツとしたツアー実施（2/14、2/21）
  - ・ ひろしま県民の森で開催する「雪山感謝祭」に合わせたツアー実施（2/22）
  - ・ 芸備線の乗車により、買い物等で使える 200 円の割引券と庄原市内の循環バス無料乗車券を発行するキャンペーンの実施（1/9～2/28） など

#### (2) 芸備線再構築に関するより専門的な分析等調査事業（新調査事業）

- 事務局から、新調査事業の進捗状況について報告
  - ・ 実証事業 A の増便を通年実施するために必要な費用の試算  
土休日の列車増便（三次～新見）などを実施するためには、定期検査などで車両が不足することを踏まえ、2 両の新造等が必要（費用：9.8 億円）
  - ・ 実証事業 A の効果検証などの進捗報告  
実証事業 A で実施した取組のうち、現時点で費用と地域経済効果の算出ができたものを報告  
→ 現時点で集計された取組の合計（通年費用：71 百万円、地域経済効果：126 百万円）

### (3) 令和8年度実証事業・調査事業

- 実証事業Bで実施するバス実証運行の経路や区間について、事務局イメージを提示

#### 【平日：日常利用向けのバス実証運行】

芸備線沿線の主要道路を運行（早ければ令和8年5月中旬から開始し、4か月間実施）

#### 【土休日：観光利用向けのバス実証運行】

土休日の臨時列車運行と同等の運行区間・運行時間帯で運行（実証事業Aの臨時列車運行終了後の7月から開始）

### (4) その他

#### 【構成員の主な意見】

構成員	主な意見
広島県	○ 来年度予定されている実証事業Bのバス運行の実施に向けて、実際の運行経路やダイヤを検討していく必要があるほか、4月以降も実施される実証事業Aの具体化も含め、引き続き、庄原市などとも連携しながら調整を進めるので、事務局には、各構成員や地域住民の理解が得られるよう、丁寧に議論を進めていただきたい。
岡山県	○ 実証事業の具体化に向けては、地域のニーズや新見市の意向を踏まえた内容となるよう、新見市と連携しながら取り組むので、事務局においても、各構成員と丁寧に議論を進めていただきたい。
庄原市	○ 実証事業Bの内容検討にあたっては、鉄道とは異なるバスの特性を活かした実証運行となるよう、事務局のリードのもと、進めていただきたい。
新見市	○ 次回の協議会に向けて、具体的な運行ルートやダイヤ、運賃などを、各構成員と検討していくこととなるが、本市としては、沿線住民の意見を踏まえながら議論を進めていきたい。
JR 西日本	○ 鉄道再構築の場合の利便性向上の一例として、実証事業Aの恒久化の費用が示された。今後、鉄道と他モードそれぞれについて、必要な利便性向上やそれに必要な費用を比較し議論を行っていきたい。 ○ 地域のニーズを踏まえながら、実証事業Bの具体的内容を次回の協議会で決定し、ゴールデンウィーク明けの早い段階から実証が開始できるよう、構成員として議論していきたい。
神田 教授	○ 必要な交通インフラについて、20年、30年後の将来の姿を見据え、バックキャストで考えていく必要がある。

### 5 今後の対応

- 来年度予定されている実証事業Bのバス運行の実施に向けて、実際の運行経路やダイヤを検討していく必要があることから、引き続き、構成員間で調整を進めていく。
- また、令和8年4月以降も実施される芸備線を活用した実証事業Aの実施に向けて、庄原市や地元関係団体などとも連携しながら、その具体化を図っていく。

### 6 その他

#### (1) 今後のスケジュール（予定）

令和8年 3月頃 第6回芸備線再構築協議会 （以降順次開催）

#### (2) 予算（単県）

12,745千円（令和7年度6月補正予算12,588千円を含む）